

# 岡山 HIV 診療ネットワーク 第 109 回研究会のご案内

平成23年エイズ発生動向速報によると、新規エイズ患者数は、過去最多の件数(平成22年)とほぼ同数であり、新規HIV感染者・エイズ患者に占めるエイズ患者数の割合は、最近3年間は増加傾向にあります。従って検査が未だ十分行き届いていないことが示唆されています。全国の動向と岡山県の現状を比較しながら、積極的に検査を受けてもらえる環境整備への道を模索していきたいと思えます。さて、今回の研究会は日常診療に役立つ事例を3例紹介します。多数の皆様の参加をお待ちしております！

日時:平成 24 年 5 月 22 日(火曜日) 午後 6:40~8:10

場所:倉敷中央病院・総合保健管理センター「古久賀ホール」

倉敷市鶴形1丁目 8-5

TEL086-422-6800(代表)

当番世話人:藤原充弘 (倉敷中央病院小児科)

村木咲子 (倉敷中央病院看護部)

## 定例会予定:

①6:40~7:00 報告

司会:村木咲子

### 「平成 23 年エイズ発生動向～岡山の現状～」

和田秀穂/川崎医科大学血液内科学

②7:00~7:20 事例検討 1

司会:藤原充弘

### 「HIV 関連リンパ腫との鑑別を要した HIV 関連反応性リンパ節炎の治療 経験」

福田寛文/川崎医科大学血液内科学

③7:20~7:40 事例検討 2

司会:藤原充弘

### 「HIV 関連形質芽細胞性リンパ腫に対する CODOX-M/IVAC 療法 の忍容性と治療効果」

是澤里紗/川崎医科大学血液内科学

④7:50~8:10 事例検討 3

司会:和田秀穂

### 「アメーバ赤痢を契機に AIDS と診断し、HAART 療法中にカポジ肉腫 を併発した一例」

山崎尚也<sup>1)</sup>、上田恭典<sup>1)</sup>、

坪内和哉<sup>2)</sup>、時岡史明<sup>2)</sup>、石田 直<sup>2)</sup>、阿曾沼和代<sup>3)</sup>、今村 隆<sup>4)</sup>

/倉敷中央病院血液内科<sup>1)</sup>、呼吸器内科<sup>2)</sup>、薬剤部<sup>3)</sup>、総合診療科<sup>4)</sup>

主催:岡山 HIV 診療ネットワーク\*

◆入会ご希望の方は、入会費 1,000 円を受付時にお支払い下さいますようお願い致します。

次回のお知らせ:第 110 回研究会は平成 24 年 7 月 24 日(火)、川崎医科大学本館 8 階「レストラン 檜の木」で定例会の予定です。演題発表を広く募集しています。

★★茶菓を準備しますが、数に限りがあります★★